

とよこら

TOYOKURA PUBLIC RELATIONS

MAY.2011

H23.5

豊頃町広報紙

特集 東日本大震災
豊頃町における被災地支援状況の報告

特集 第17回統一地方選挙終わる

NEW  FACE



第36回乳牛ジュニアショウ



4月11日、町乳牛改良同士の会（山本雅樹会長）主催の第36回乳牛ジュニアショウがとよころ農業機械センターで行われ、月齢5カ月から26カ月未満までの未経産牛32頭が、5部門に分かれて、体格やその将来性を競い合いました。

飼い主の行き届いた手入れによりどの牛も見事で、審査にあたった清水町町の酪農家成松直樹さんも苦労していました。各部の上位2頭で争われた最高位および準最高位は次のとおりです。（敬称略）

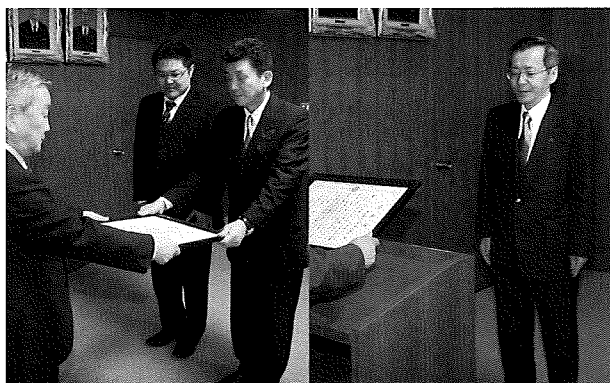
【最高位】

プラスランド カデット プレスコット（加島拓弥）

【準最高位】

ブラウン マセラティ グリーン（吉田孝）

大津漁港の復旧に貢献、2社に感謝状

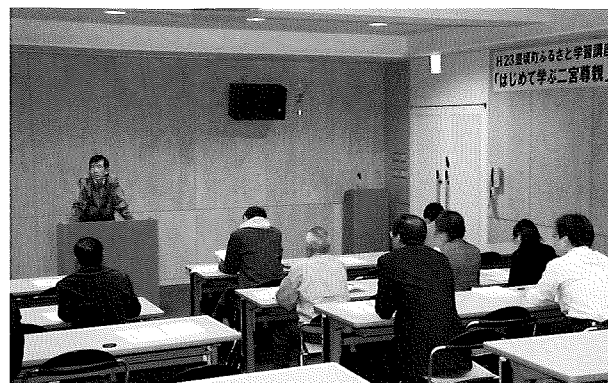


東日本大震災の津波で大きな被害を受けた大津漁港の復旧に寄与し信頼性の向上に貢献したとして4月7日、萩原建設工業株式会社（帯広市・代表取締役社長：萩原一利）に、また13日には宮坂建設工業株式会社（帯広市・代表取締役社長：宮坂寿文）に町から感謝状が贈られました。

萩原建設工業は町並びに漁協の要請を受け、直ちに被災現場に関係職員を派遣し必要資機材を緊急調達し、漁船応急復旧作業を完了させました。

また、宮坂建設工業も要請を受け、救援物資の提供と、緊急災害対応として被災した漁業用施設を短期間のうちに作業を完成させ、大津漁港の復旧に寄与されました。

ふるさと学習講座が始まる



4月12日、えるむ館視聴覚室で豊頃町ふるさと学習講座「はじめて学ぶ二宮尊親」（初級講座全5回・教育委員会主催）が始まりました。

はじめて学ぶ人のために用意されたこの講座は、6月7日までの隔週火曜日に行なわれます。

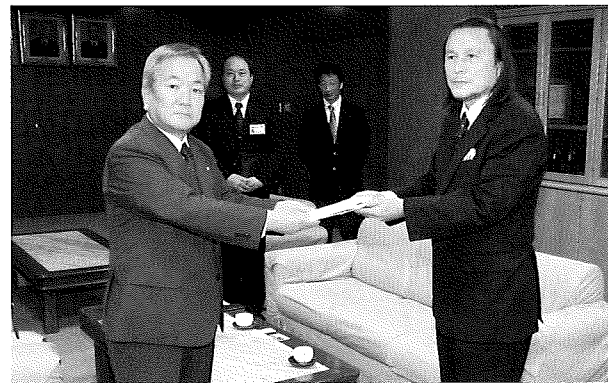
講師は豊頃町郷土資料調査研究員の佐藤信勝氏で第1回目のこの日は、ペリーの来航と尊親の誕生や幼少の志賀直哉が尊親に遊んでもらったエピソードなど、尊親の一生について、とても分かりやすく講義されました。

この講座は途中からの受講も可能です。

詳しくは教育委員会までお問い合わせください。

（☎574-5801）

遊技業協同組合が震災見舞金を寄付



4月13日、十勝管内のパチンコ店経営者等で組織する釧路方面遊技業協同組合帯広支部が、東日本大震災による津波被害の復旧に役立ててと震災見舞金100万円を町に寄付されました。

この日、同組合帯広支部長の島崎秀夫さんと木暮浩司副支部長、山本猛事務局長の3人が役場を訪れ、島崎支部長が宮口町長に見舞金を手渡しました。

島崎支部長は「人的被害がなくほっとしましたが、十勝も震災の被災地のひとつ。地元から活気を取り戻し、日本中に元気の輪を広げられたら」と話しました。また宮口町長は「大変ありがたい。災害復旧に役立てたい」と感謝を述べられました。

